

特別
子12
3643
71(20)



花 蟬 柏 櫻
篁 丸 崎 川



新編
梅若誠
昭和元年
梅若重
寄贈
氏

花 篋



一面

若女前後
小面

- 一着附箔前後
- 一上着唐織
- 一雙前後
- 一雙前後
- 一文下籠トヲ 單方渡

一後

前同

替

- 一唐織又ナゲ 一瓜紅雙扇
- 一着附箔 一腰卷縫箔 一唐織坪折 一腰帶
- 一雙 一髮帶 一扇 一掛守
- 一女笠 一笹持又ナリ

一連面

- 一着附箔 一上着唐織 一雙
- 一雙帶 一籠右持

一子方

- 一着附箔 一白單持衣 一緋奴袴
- 一込大口 一冠 一息腰帶
- 一黑骨壹扇

一 半連男唯今照日ノ位下ト急ト云時分幕上何更ナク

步行出イカニ申ト云時幕ノ一間程ハナレテ是ト何更

ニテソト謡 一 我君ハ都ヨリト正面 一 是々歩

魂ハト男文ト籠トヲ持来ル時男ノ方向文ヲ右請取

籠ヲ丸ニ請取 但籠ノ手ヲ持 文ヲ其手ニ持ツエ右ノハサケ

腰ニ付テ板ハ我君ト男ト此テ謡 一 此年月ノ番

一 為淨名踐カシヤトホリ 一 サレ兵ト下ケ面上

一 此奈ラセハント男ノ向文ヨリ步行舞臺入

一 男ハシテト入替り幕入

一 舞臺入シテ柱ノ先ニテ下ニ居ナカラ籠ヲ此テ下ニ置キ

文ヲヒラキ未迄サリト此夫ヨリ初メ見返シ讀也

一 書置給フト文ノ中ヲ此居 一 君ト位ト文ヲカシテケ

面ヲ正上ニ 一 山里ニトサ切ニ文ヲ冬ニ右持膝ニ垂

一 花ノ袖トテト籠ヲ此テ居立籠ヲ丸ニ大更ニ持テ花カ

タミト立文ヲ前ノ如ク籠持タレト持ソ五 一 抱キテト

籠ノ向フヘ右ノ手ヲ掛ケ前ヘカエテ袖ヘタラクトシサリサニ

橋カリノ方向向帰リケリト丸ノ足ヲ出シテト又返シヨリ右ノ

ノケ腰ニ付靜ニ步行申入

子方
一子方興早ワキ 半連口日ト 出方テ出子方例)

通舞臺ノ左方ヨリ先テ足トメ正面向タル俛立

后 一紅葉ノ御幸ハヤシト左トリ半座へ

行復テ 脇正面向床机 腰カケル

後

一セイ本鼓吹テ幕上連先へ出 右ウケ身ヲ垂シ歩ニ出ル

連フ松テ正面向足ト花シテ見斗テ松ノ邊ニテ正面向足ト

ル時正面向見テイカニアレ成ト謡

一何物柱トヤトニ足クツロケ 一教へ給又ソヤトニ足出

連

一ヨシナフ人ハトシテ向ニ福アレハ悦ムト正面向見ル金渡州

一アレモ洗ハト正面向又ヨシナフシテ向アレハ悦ムト正面向見ル金渡州

一八金ヲ渡リトシテ向福ニシテ向テモ

一何八金ヲ渡ルトヤト連へ 一実今思ヒ出シテ正入

一玉章ヲト連江向合

連

一ツケシ南ノト舞臺へ入シテ柱先ヨリ左トリ大ト

おニテ正面向足トメル

一ツケシ南ノト謡ナカラ步行舞臺へ入サニシテ柱先ニテ

一我ヲモ行カリニ 踊ニツフニ正へ出衣衆踊ニツフニ迹へタラトトサリ

足トメカケリ

連

一 君カ位ヨリ安ニ申ヘ出シテ向

一 大和ハイツクト連ヘ向合

一 急ナリク切ニ人共正面

連

一 爰ハ近江ト大小ノ河行正面向立居

一 及又憲ニ浮舟ト足出

一 コカレ行旅ヲ引

一 スリ衣トス足踰

一 渡モ也カト右ヲウケ

一 アカサリシト正面ニ出カケ右ニテテ足トメ

一 弥心ノヲカレ來テト右ヨリ足出

一 鹿ノ紀外ト

サレ廻シ引

一 猶通ヒ行ト右ヲウケ

一 野書山

昔トカシ出^{ニ足程}

一 露分テト左トリ大鞍ノ方ヘ向カシ

出^{ニ足程}足トメサマニ連ヘ向合

連

一 聖香山昔露分テト已前ノ如ク申ヘ出シテ向

一 玉ホノ宮ニ返シヨリ右トリ橋カリヘ行連モ弥ヨリ行
*○笠アル時玉ホノ宮ニ返シ在ナリ安カラ暮脱後見前ニテ
後見ハ渡シ橋カリヘ行*

一 セイノ時ノ如ク二人共正面向立居

一 サコソ心ハト連ト向合

連

一 露霜ノト左トリ舞臺入シテ程先ニテ足トメ

一 御幸ノ先ニスミケリトフ松ノ所迄行正面向立居

連

一 ワコ退キハト甲籠ヲ抑キ落サレ意地ニヤ

謡ナカラ下ニ居立テ籠ヲ左右ニテ持立テ

シテノ方ニ籠ヲ前ニ出シ是レハ極ニシテ下ニ居立

テイハシトシテ謡ノ内ニ籠ノ身ノ所ヲ左ニ

已前ノ如ク持テ立左トリ大小おへ行正面

一何ト君ノト連ニ向 一蕉イハシノ変ヤト謡ナカラ

舞臺入シテ柱ノ先ニテ足トメ立居ル

一コト新キト耳ニ 一我等ハ女ノト正面連ニ向

一總辨ノ君ト申トカヤト耳ニ 一サレハ加程ニト正面

一浄花籠ヲト耳ニ 一我ヨリモ猶物狂ヨト耳ヲ

是迄テ中迄ツカクト出 左ニテ耳ヲサシテモ 一怒口シヤ。

カワロシヤト踊フミカシ右ノリ 一世ハ未世ニト正

一連忍口シヤト云ヨリ苗座ニおへ行籠ノ前ニ立下ニ居ル
座ニテ出掛 一地ニ落ズト角トリ 一ハ夕散モセト

左廻リ大小前ニテ 一土ニ落シト正面下ヲ胸サレ

ニテサレ出開 一天ノ咎モト上ヲ見テ正ツカクト出足

トメ 一罰アタリト右廻リ大小前ニテ正面向

一トモノ物ノ心ニト踊右ノリ 一イハレサセト耳ニ向

一人ニ云ハレサセ給フナトサシテ右ノ方此廻ニ開 不開面ニイテモ

一加様ニ申セハト正面身ヲ垂 一此君イマメト右廻リ

ナカラ扇ヒロケ平ラシテ左ノヨソエトケテ持

一朝毎ノ御勢ト正面ガ出右ニテ音ト足トメ

一抱ヲ^{朝ツ先}向ト右ヨリ^出出扇目通りヘアケル

一禮拜シト扇タミ足クロケナカラ合掌

一御午ヲ合セトヨリ引 一内面影ハト面上思テ

テ兵少シ出足トメ 一忘レ筈迄モト面下ケ心ヲ内

ヘトリ^右添タラクトシサリシホル 一陰奥ノト謠ナ

カラ扇ヒロケ 一カツミシ人ヲト左右ヨリ先

タテ丸ヘ行 一急行ノト躰

一急フモシスリト右ヲ高ッシテ左行 一亂レコノ只ト

正面先ヘサ込開 一爰ニ來テタト右廻リシテ

柱ノ際ニテ 一月ノ都ハト右ケ行カリ

一袖ニモ^テ後サレスト^左左ニテサス様ニシテ前ヘ出シ是ナカラ正

面先ノ方ヘツかくト出足トメズノ字ノヒギニ左右ヨリ足

行カリ 一又ヨシモ取レスト左ノ身ヲ引扇ヲ前

上ヨリ^カ出シテ是 一唯從ラニトサシテ行キリト

廻リ角トリ左ヲ引時扇ヲ上ヨリ覆フ極ニ頭ノ上ガ

サシ 一水ノ月ヲト下ヲ是也 一如クニト

一 九へキリト廻リサセニ扇ヲ下ケ正面向

一 叫ビフシテト凍へタラクトシサリ 一 泣居タリト

シテ柱ノ隙ニテシホリナカラアツラカク返ニシホリカユル

一 早ノ詞ニアツラヲ直ス 一 嬉シヤ借ハトワキへ

一 イサヤ狂ハント連へ向合 一 市幸ニ狂フト正へ向テ立

一 エサキヲ拂フト正へ出テ開イロエ

一 イロエフトメ大小ノ前ニテ左右袖留

一 終ニ帝ニトワキへ向定出キ切正面向

一 母泉殿ノト右ラケ 一 明暮歎キト正面向

一 給ヒサリト踊 一 サレ共中々ト出掛角トリ

一 深ク歎キト左廻リ中テ一父帝ニ参シト 左右ナシテ中ニモ左右折込扇

ヒロケ面ニカサシ 一 卒ハ足ト引テ扇上

一 上界ノ壁妾ト左右ヨリ先タテ、左へ行

一 仙女ナリト踊 一 一旦人間ニト右ヨリシテ右行

一 終ニモトト正面向出テ開 一 春山翁君ト右廻リ

シテ柱ノ隙ニテ 一 暫ク度ニト正面向胸サシ開

一 九花帳ノト左右シテ正へ舞ヲ止 一 焼タマフト至る踊

一 款文ト正面向ニ足出 一 風スサシト右ラケ

一月味ナルト正面の上此 一夫カト思フト正面先ヲ見

ツカト行面影ノト是トメ 一有カ毎カニ右方面

ハツキルセズウクト面をツカヒ見廻シ 一猶イヤシト角ニ段目極

扇ヲトリテ行左廻リシテ柱ノ際ニテ右ヲケ

一午ニモト正先ニケ扇ヲツカト出是トメアト引ナケ扇ヲ内折込テ持引

一唯イタツラニト面ニテ正也 一源渺ト右廻リナカラ扇

右取巻ヲ持中ニテ左右サ也開 一餘リニト踊

一季吏人ノト左右ニテ出正面先へサ也開 一室ニキ床

ヲト左引心ニ扇ヲ平ラシテニツマ子ク様シテニ四足程出

一打拂ヒト左ヨリ右横ニハラヒテ角ノ行扇カサシ左廻リシテ

柱ノ際ニテ正面向 一獨袂ヲカタシトト居扱扇

タム

一連 餘リノ夏ニト前ナル籠ヲ持テ立シテノ前へト居

立テテ籠ヲ渡シ立テ左トリ已前ノ處ニト居

一餘リノ夏ニト連ノ方向籠ノ脇ノ處ヲ兩ノ午ニテ持テ立

カシ出テト居立 籠ヲワキヘ渡シ立ニ已前ノ處迄ニサリ

子方へ向ト居立 一実有難ヤト面上

一有難ヤト立子方ヲ辨ニナカラ中へ出テト居立

一 意ニ浅又ト引テ下トト居 一 沛カコトト

子方ヲ見 一 君ノ沛心ツト^左シホリ

一 御遊モ既ニト立右トリシテ柱ノ所ヘクツロキ扇ヒロケ

一 ^{子方}今ハ還幸ナシ奉シトト立橋カリノ方ヘ歩ミ

幕入

一 供奉ノ人々ト云時分正面向シテ柱ノ先(出サシ扇ニテ

子方ノ歩ミ入^ル漸ノ方ヘ左ヨリテ行角ヲトリ左廻リ

半座ノ前ヨリサシテ行シテ柱ノ所ヘサシ付足トメ

一 綉ハ行ヤノ返シニ扇カサシ左少廻リ正面(開右戸

二 足出廻ニツフニ扇タニ入

右カタキ

蟬丸

一面

增髪

- 一着附箔
- 一上着唐織
- 一髪
- 一髪帯
- 一丸紅髪扇

○黒頭字元結付 但小用
 笠持以時 扇不用
 替形未記

連
 一面

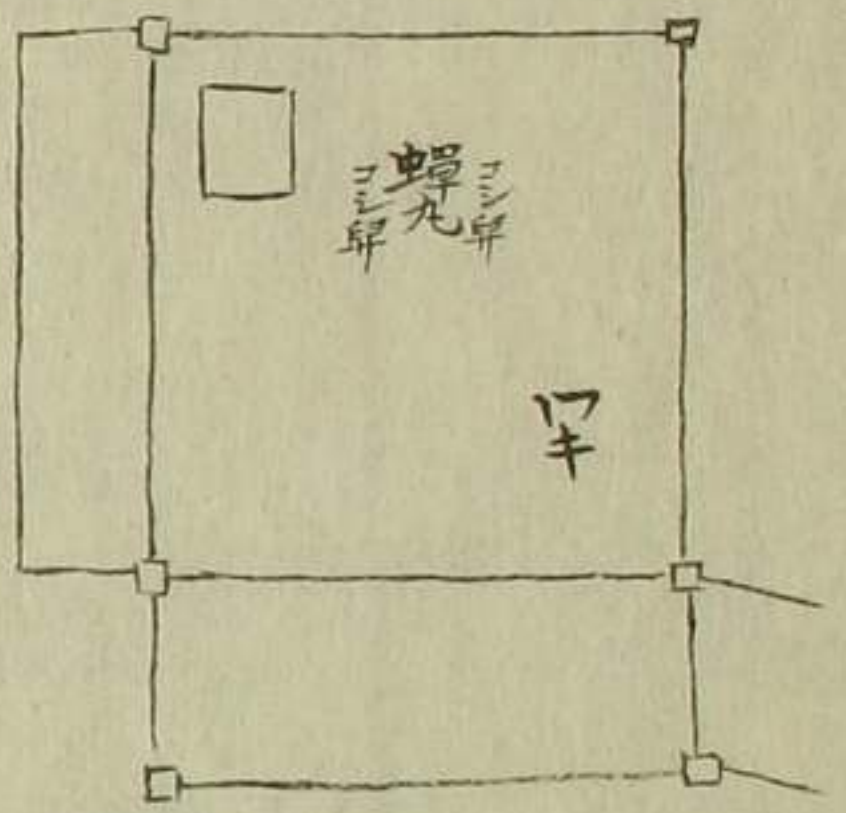
蟬丸

- 一着附小袷厚板
- 一水衣袴上
- 一髪
- 一髪扇只髪不用
- 一髪
- 一髪扇
- 一髪
- 一髪扇
- 一髪
- 一髪扇

物着時
 一角帽子
 一笠下杖後見持出

雛子方地高座付テワラ屋ノ作り物ニ引廻シテ掛後見二人
 三持出脇座ノ所ノ脇正面向テ置也引廻シテトリ後見
 引

一 蟬丸 樂
 蟬丸 樂
 一 口キ ト 次オテ出



一 次オヨリ 通行 何変ナク立居

一 逢坂山ニ着テリト 通行トモニ丸トリ 笛座ノ

レハ行足トモ 此時輿ヲラセ輿昇天共 通行淋テ
 切込入

正面目付柱ノ方ウケテ向ト下ニ居ル

福王方ニテ 道行淋テ先世所ニ 湯彦ヲナク入トモ
 従是笛ノレハ行

一 蟬丸下ニ居ル内 口キツシキ 板舞臺入ト下ニ居ル

時イカニ 清貫トモ也 一 偕我ヲ此山ニ

捨置ヘキカト 口キヘ 一 勅諭ニ此禮ニト

正面ニ也 一 意忌カノトモヘ

一 サレハ 父帝モト 正面ヘ 一 意歎クマシノト

面ヲガシハツキリト上 一 勅諭ヤナト内ト下リ

一 是ハ何ト云名変ヲトモヘ 一 是ハ御出家

トテ目出度ホ変ニテ 渡ラセ給レ候ト 聞テ 正面

ヘ身ヲ垂シ物着 此時前後ヘ 物着セテ 又出テ

狩衣ヲ脱 髪ヲトリ 角帽子ヲ着 扇ヲ前ニ指

安置シテ友^ノ膝ニ置 物着セ引テ見合セ

実ヤコウハント 謡 一先ハ雨ニヨリ 其後

一笠ヲ取ラスルト 笠ヲ持來リ 蟬丸ノ色ニ付ルト友

色ニテトリ 觀テ 是ハミサハラヒト 謡

一笠ト云セノカト 云ナカラ 前ノ左ノ方ト置 友色ニテ探サウニ大友ニ可置也

一沛^ノ色ニ持セ給フヘシト 杖ヲ色ニ當ルト 友色ニテ 杖ヲ右ノ方ニ置モ同也

トリ 觀テ 彼遍照カ 讀シ 杖カト 右ノ方ト置

論 正面ニ何更ナク居ル

一皇子ハ 論ニ唯獨リト 居立 笠ヲ友色ニテ探リテ

トリ 左ニ持 杖ヲモ探リテ 右ニ持 盲杖ニツキ 笠ノ内紐ノ所ヲ握ル

大小ノ前ニ行 正面向 一琵琶ヲ抱キテ 杖ヲ持

中ヨリ 吹シ 先ニテ出 一外ニロヒテソ 注給フト

海ヘタラクトトサカリ 大小ノおミテ 寄座友色ニテ注 サカリナカラ 笠ト杖ヲ捨

海淵テ色トケ 膝ニ置居ル 狂言ハッガニ 位出

各案スニテ 先カラ 湯座ニトテ 後ヨリ色ヲ

カケルト 立テ 歩行 作り物ニ入 脇正面向 安置

狂言蟬丸ヲ連テ 作り物ニ入シ 捨テ 笠ト杖トトリ 作り物ノ内蟬丸ノ右ノ方ニ置 笠ハ杖ヲ置テ 作り物ノ外ニ立カケテ

置板蟬丸向又々此舞申サスルト云テ入ル
杖置キ板能ノコ方狂言ヨリアラハ置キ也

一七イ本越聞テ幕上右ウケ正面ヲ見テ身ヲ垂シ安出

一八松ニテ正面向足トメ是ハ延喜第ニテ謡

一縁ノ髪ハ空サセニト左ノ身ヲ上テサシ一ナツレ共ト左前へ

サカリ光髪變ヲナテナカラ身ヲ下ケニ足クツロケル面モ下ル

一イカニアレナル童部共ハト右ヲ見テウケ

○更逆ナル更ハオカシヒヨナトニ足ツメテモ
○更逆ナルト正面向オカシヒヨナト面トケ心持シテモ

一偕ハ我髪ヨリセト正面一汝等カ身ニテ我ヲト

右ウケ也 一面白シクト正面 一月影ハ

天ニ懸ツテト上ト是ニ是出ナカラ萬水ノ底ニ沉ムト

トヲ見テ足トメ 一是等ヲハト面上

一家ハ皇子ナレ共ト左ト舞臺入時シテ柱太鼓座ノ所ニテ所ニテ正面

向 一髪ハ身上ヨリ生ノホリテト扇ニテ頭ヲサシ女傾也

一是皆順逆ト扇ヲ下ケオカフ舞臺入シテ柱ノ先ニテ開不用是トメ

一面白ヤト踊ニツフミ正面へ出右へ余込踊ニツフミ海へタシク

トサカリ足トメカケリ

一カケリトメ小廻リ三ノ開柳ノ髪ヲモト謡

一風ニモ解レスト正面へ出目付柱ノ前ニテ足トメ

一手ニモ分ラズト 左ニテ前 左方ハサカリ名鬘ヲ

襟ノアタリヨリ梅サゲル様ニシテ鬘ノ先ヲ持テ也

一カナクリト扇ヲヨリ左ニ持名鬘ノ上ニアテナカラ右トッ

廻リスツルト右ニ先テコソリ落ス様ニ引放シ共ニ角左ノ角モ放シ下ケ

角ヲ上様ニ行 一バトウノ舞カヤト左ニ廻リシテ柱

ノ所ニテ正面向 一浅ニシヤ正面ノ用トメテモ左ニテシホリ

一歩切ニ添ヘテ引 一立出テト返シヨリ正ニ出行カリ

一未白川オトサシ廻シ開テ踊ツツニ 一粟田口ニモト

右トリシテ柱ノ際ニ行 一今ハ誰ヲカ松坂ヤト右ヲ

ウケテカシ出足トメ 一関ノ子タトヤヒキニ脇座ノ方ヲ向

左ノ角ニテサシテツカクト行 一添ニナルヤト右振

返リ橋カリノ方ニテ引 一音羽山ノト遠ニシッ

此 一各残オシノ都ヤトシテ柱方ニツカクト行面トケ

一松虫鈴虫聞ナカラ右ニ廻リ角トリ 一啼ヤト左ニ廻リ中ニテ

一里人モトカムナヨト 正面ヲ右ノ方ニサシ廻シ開

一狂女ナレトコロト 踊ムツツニ 一清瀧川トト

キ込扇ヒロケ面カサシ 一歌見ヘテト引テ扇上

一今ヤ更ラシト 左右ノ角ヲ出シ左ヲ先ニテ、左ニ行

一望月ノト踰 一駒ノ歩ミセト右ヲ言フ右ニ進ミ行

正面先へサシテ引 一水モト下ヲサシ右ニ見廻シ面ヲ

ムケテ正面ガシ出左ニテ足トメ 一散見ハト左ヲ引トヨ見

一我ナカラ浅間シヤト面ニテ諦ヘガシサカリ閑ナカラ

一髪ハ荊ヲ戴ト扇ヲ頭ノ上ヘアケガシ傾ケ

一伏黒モ乱レトサシテ行右キリト廻リ角ヲトリ左ヲ

引時扇ヲ上ヨリ掩フ様ニ頭ノ上ニカサシ 一冥逆髪

ノ瓢ト下ヨ見 一水ヲ鏡ト左キリト扇ヲ下ケ

正面向諦ヘタラクトサカリシテ杖ヲ取テ足トメ

一現ナノ我姿ヤト左ニテ泣 謡誦テ身下ケ右トリ

シテ柱ノ際ヘムキ居ル

一世ノ中ハト云時分正面向テガシ出蟬丸ノ唄ヲ聞ナカラ作り

物ヘ向作り物ヲ見テ不思議ヤナト謡 一思フニツ

ケテト心ヲ内ヘトリ正面向 一ナツカシキ心地シテト

作り物ヘ向也 一ヒツカニ立ヨリトガシ歩ミ出左ノ

耳ニテ聞足トメ 一ナフ逆髪コソト作り物ノ内ヘ

向テ云 一戸ヲ明レハト作り物ヨリ出蟬丸ヲ見テ

一サセ浅間敷内有様ト謡ナカラ諦ヘサカリ

一 互ニ^ハニ^ハヲ取カシト 蟬丸ノ側へ行中未蟬丸ノ左ノ

肩ノ取左ノ^ハヲカケ姉宮カト蟬丸モシテへ同様^ハヲ掛

二人一同ニ下ニ居立 一セキアへ又ト二人共^ハヲ引

一 互ニ袖ヤト^トシホリトクト下ニ居

○ 互ニ袖ヤト正面^ヘ向シホリテモ以時蟬丸モ正面^ヘ向

一 クリニ立テ右へトリツロキ中ニテ正面向下ニ居

曲ノ前 曲ノ中 上ノ前 曲ノトメ 蟬丸^ヘ向

一 思ヒヤラレテ痛ハシヤト 面下ケ 是迄ナリヤト 蟬丸ヲ思テ

謡 一 其痛ハシヤ我ナカラト 謡ナカラ立シテ柱ノ^ト

方^ヘノキ 一 留ルヲト足トメ正面向左ニテシホル

一 啼ヤ関路ノヨリ 蟬丸ノ謡ヲ地謡^テモ

一 啼ヤ関路ノ夕鳥ヨリ^ハヲ下ケ 静ニ左トリ橋カリへ行

関ノ杉村ニ行ハト云處ニテ 一 口ラ屋ノ軒ニト蟬丸^ヘ向

次ニ歩ニ出 一 泣々別レトシホリナカラ左トリ幕

入

蟬丸 一 道行ノトメニ目ニ立ヌ様ニ扇ヲ又キテヒロケ左^ヘ

琵琶ヲ弾ズル心持膝ニ置道行ノ謡海テ

第一第二ノ絃ハト謡

一ナフ逆髪ヨリ糸々ト聞テ扇ヲタニ前ヘサシ

杖ヲ取テ探リテトリ右ニ持左ニテ戸ヲ向フ

探シ明ケ 一ワラ屋ノ戸明レハト盲杖ニツキ

作り物ヨリ出シテ方ニ足ヲ出シ

一互ニ互ニ取カシトシテ蟬丸ノ肩ヘヨリ掛

給フトキ蟬丸杖ノ先ヲ右方ニケ同シク左ノヨリシテノ肩ノ處ヘ

カケ 一姉宮カトシテト一同ニ下ニ居立

一セキアヘ又ト引 一互ニ袖ヤト左ニテシホル

〇互ニ袖ヤト正面ヘ袖ケ向テシホリナモシテ正面ヘ向カシ時カモ
トクト居 一クリニ杖ヲ右トヘ探リテ大更ニ

置海正面ヘ角カケテ向

曲ノ前 曲ノ中 上ノ前 シテ

一上謡ナカラ正面ヘ出シ 一音ニタムヘテ扇

ヲ又キテ已前ノ如ク口ケ左ニ抱ヘテ

一琵琶ノ音ヲト安座 琵琶ヲ彈ク心持曲ト又迄

一是迄ナリヤト扇タニおヘサシ安座ヲ出シシテ

向 一思ヒヤリ給ヘト云終テ杖ヲ取テ

探リテ互ニ盲杖ニツキシテヘ向居ル

一ナクヤ閑路ノト地ニ指テモ 蟬丸ハ正面角カケテ向

一 夕、スミテトシテ、方へ向 一 互ニサラハヨト

歩ニ出 一 常ニ訪セ給ト云迄ニシテ

七ノ云フ凡情ニテシテ柱ノ先へ行 ○舞臺中此ニ出仕形同様也必中ニテ仕留テモ

一 幽ニ聲ノスル程ト足トメ杖持名コフシノ上ニ右

手ヲ棄セ右ノ耳ニテ聞 一 是置テト左

手ヲノケ正面右ヲラケテ向 一 泣々別レト

海へカシタラシトサカリナカラシホリ足トメ返

泣々トシホリカエ謡海テ手ヲ下ケ右トリ

幕へ入

蟬丸心得之度

- 一 伏ミロヒテツ泣給ト云所笠下杖捨シ笠仰向又様
- 一 能ノ已前早狂言へ笠杖ノ扱ヒヨク可談置度
- 一 水衣ノ上腰帯結名先ヲ元結ニテ留サセ可置度

右蟬丸仕形天保四癸巳歲如月朔日御先中青山下野守殿内定能之節盛安勤之書留置也

蟬丸 二子即侍長 高安之左郎 貞光八郎 建孝六郎 福添之左郎 世新九郎

○ 思頭ニテスル時笠ヲ右ニ肩ゲ出 一心ヨリノ狂亂シテ笠カシ

近ヨリケ

○ 髪ハ身上ヨリト笠ニ頭ヲサシ傾ケル

○ カケリノ中笠ヲ肩ゲカケリノ留メト廻リシテ笠オロス

○ カナグリ捨ルト扇ニテスル如ク笠ニテスル

○ 狂女ナレト 踊フニ 一 清龍川トサ込引ナカラ上謡

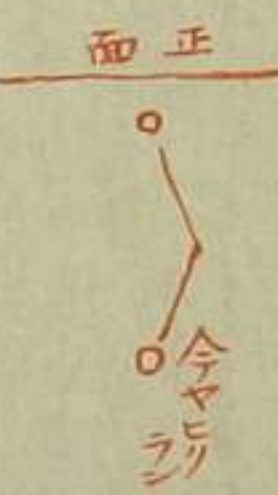
一 今ヤ引ラシト右ヲケハ細ヲ持タヤハ両ノ前へ出シ箆ハ先上ラヌ

様ニ後ノ方ヤリテ逆ニ右ヲ握ル也 一 駒ノ歩ニモト右ヲケ花俣

ニテサレ出 一 辺ツツカト正面前へ箆ヲ持垂シテサ込開カズ直リニ

一 水モト箆ニテ下ヲサシ右方へサツト見廻シ流如常

又 駒ノ歩ニモト左ヲ握ニ左方ト出正面前へ出テモ



○ 髪ハ前ヲ戴キト箆ヲ上テ頭ヲサシガ傾ケ 一 黛モトサシテ行角ニテ

キリト右廻リ正面前時箆ヲ肩ケ左ノ方ヲ箆カケ首ヲ押へ正面前ニ定

出 一 更逆髪ノ亂ソルト下ヲ見込 一 水ヲ鏡ト面ヲ上友ノ方ヨリ

ナカラ流シテサリシテ柱ノ際ニテ足トメ 一 現ナノ我箆ヤト左ニテ注

○ ヒツカニ立ヨリ開居タリト箆ヲ右ヘヨモ左ノ方ツカケテモ

○ 互ニハミヲ取カハシト蟬丸ノ側へ行時クリニ立帰り居ルキ所へ箆ヲ捨

置蟬丸ノ側へ行 箆ヲ取ザルヤハ後見ノ者へ云置ヘキ也 クリニ立降り

中ニ正面向居ルト右方ニ箆捨花俣アル也 ロキニテ立時其箆ヲ見テ

持行也 面ヲ掛タレハ捨花俣ノ在リ如見ヘサレ也 クリニ立降り居ル時

箆ヲ足ニカケバ恥辱先ヘシ能クエ支セサレ出来カタルヘシ

又

○ 栗田ロモトヨリ橋カリへ行 松坂ヤト左トリ 関ノ子ヲタト

笛座ノ方ヲ左ニテサシツカクト行 流ニナルヤト右ヘフリ返リ

幕方へ引テ遠ク見テツカクト行足上花 松虫鈴虫ト右廻ルヤハ

シテ舞臺へ入中ニテ里人モト正面前ヲサシ廻シ 流同様

又

流ニナルヤト右ヘフリ返リ遠ク見テ 名残オシノ都ヤトシホリ

ナカラ脇正面前 松虫鈴虫ト右ヲ下ケ左トリ舞臺へ入テモ

○ 袋モ亂レトサシテ行角ニテ右キリト廻リ正面前時左ノ方ニテ襟ノ

アタリヘサカリ花頭ノ毛ヲ持向フへ出シ正面前ニ是出下ヘツツシテ是

水ヲ鏡トト右ヲ下ケテ放シ流同様

○ 竹ノ柱ニ竹ノ垣軒モ麻モト作り物ノ上ヲ面斗ニテ見 ワラ屋ノ床ニ

ワラノ窓ト中程ヲ見 敷物トテモト下ヲ見 是ソ古ヘト蟬丸ヘ向

○ 夕ハスニテト蟬丸ヘ向 借靜ニ歩ミ出カスカニ色ノ程トシテ柱ヘカカレ

カケ 是置テト 蟬在ノ方ヲヨリ 是テ 注々別レト 自ヲ放シシホリ
十カラ右トリ幕入

右朱書ノ形 文政九丙戌歲九月廿日 又文政十丁亥歲四月廿日
於弓町秘曾古能 清賜友度勤 是聞之 盛安書置之者也

柏 崎

一面

深井
前後

- 一 着附扇 前後
- 一 上着 玄唐織
- 一 雙 前後
- 一 玄髮 玄笄 前後
- 一 文卜守 甲渡

一 後

- 一 腰卷 玄綾扇
- 一 水衣
- 一 玄緋 入腰帶
- 一 玄髮 扇 懐中
- 一 篋 玄扇 懐中
- 一 前折 烏帽子 長絹

一 子方

- 一 着附 玄扇
- 一 水衣
- 一 純子 腰帶
- 一 角帽子
- 一 白骨 墨繪扇
- 一 數珠

一 囉子方 池謡 座付テ幕上 何夏ナリ 步行出 舞臺 入

笛座ノ上ニテ 正面 角カケ向 床机ニ 腰カケ居ル

一 口次才テ出 ○シテ柱ニテ案内也

一 何小左郎ハト口ニ向

一 此程ハト正面 一 筥ヲ見ルソト左ニテシホリ

一 借ヤ寂期ノト口下ケ口ニ向ニカキ一 唯古御ノト正面

一 実ヤサコソハト口ニ 一 市理トト正面

一 筥ヲ歩洗込ト口守ヲ持来ル時口ニ向守ヲ右ニテ

トリ左ノ口ニ持也 一 実ヤ歎テモト左ノ口ニ必シテ下ケ正面

一 筥ヲ見ルカラニト守ヲおへ出スヤウニシテ也

一 スム込ハト左カ下ケ右ニテシホル 一 謡跡テ守ヲ左ノ杖へ入ル

一 是ヲ歩洗込ト口文ヲ持来ル時少シ口ニ向テ文ヲ右

ニトリ正面向友ノ口ニテ文ヲヒロケホメテ一遍見渡シ

叔始メヨリ讀行リテ立テ 一 カヒル文ノ恨メシヤト見テ居讀也

一 ナカラシ父カトハ謡ノ内ニ文ノ初ヨリ末中ト見ル

一 折切ニ文ヲタミニ右ニ持但持ヤウノ口甲ヲ上ニシテ只年ヲヒサニ置タルヤラニテ文ヲ持也

一 思フ心ノナカラシト文ヲ持花右ノ口ニテ膝ヲハタト歩

ナカルラシト其口ニテ口ヲサシ 一 恨メシト其口ニ

下ケ左ニテシホル 一 ウキ時ハト文ヲ懐中シテ立右トリ

シテ柱ノ際ニ行 一 安穩ニテ正面向少シ出之程

一守ヲ七給ト殊ニ 一祈ル心ソ哀ナルト左ニテシ

殊ニ心多ク悲願テテ右ニ其意下ケル
ホリナカラ海ヘサカリテ足トメ返シニホリ丸ナカラ右

トリ中入 大ホクリキ

一子方早連何竟出百萬ノ次オノ如ク舞臺ニ

立並ニ正面向立居 早連名条淋テ先カウ

ハ座ハト云テ子方早座ニ行脇正面向下ニ居

後

一箒ヲ右肩ケテ出ル一セイ本越サ幕ヲ上正面向ウケ

是テ身ヲ垂シ歩出橋掛リ一松テ正面向足トス時

正面向左ニ右方ヲ面斗テ足是ナル童部共ハト謡

一ウタテヤナト正面 ニ足クソケテモ 一子ノ行清ヲモト箒ヲオロシ

ナカラ舞臺ニ入 一乱心ヤトツカト出踊ニツ

踏正面カシ出右ニ踊ニツフニテ海ヘタラトサカリ

足トメカケリ

一カケリノトメ小廻リ正面箒ヲオロシテ開 正面向ウケ

一故ト思ハ恨メシヤト 心モ面モ下ケ 一字身ハ面上ケ

○ 拍子ハ杖ニ出ト箒ヲ肩ケ左ニシテ掛首ヲ押心ヲ下ニテ正面ニ足ヲカクト出
一杖ニ出ト左ヨリ足正面向出 一切ノ中ヨリ海ニ引

サ切ニ箒下シテ上引

扱も〜父清前——
程おく字書成給へ——
只思百中を結へ——
此系もよからへ在——
新や為〜好やまを——
今清書おくりり——
柳〜の道とついでに——

一着シカハト左テス足踏一ツ 一人同モワカヌト右ヲケ

一イツメテ州ノト正面^へ並シ 一シラヌ心ハト正面^へ出カケ

一浦ハルノトト氣ヲ延ヒテ開 ○麻衣ト右テテ定ト浦ハルノト右ヨリ定延テ出ル 一松風をクト橋掛リ

ク松ノアリ 一歩盤ノ里ノト正面^向

一我ニタクヘテ哀。アルハト 踊セツ 初メニツフミキリ 間ヲカキテ海ニ 正^へチ込開

一子故ニ身ヲト右廻リ大小前ニテ 一フレ共ト右ヲウケ

正面先^へツカ^へトサ込ヤラニ管ヲオロシ右ニテ足トメ其手ヲ

トケ ○降レ共ツモラヌトサ込管ニ左ノ樹邊ヨリト右ヲ見廻シテモ 一淡雪ノト右ノ方トヲ右ヨリ定出ナカラ面をヒ

見廻シ 一アサノトイフハ是カトヨト正面^向向ヲヨ見

○桐花并ノ上ノ糸ヲ見 西向ハト西ヲ見ル心持者^へキ也

一桐ノ花サクト角ヲトリナカラ向ヲ遠ク見テ左^へ廻リ

○桐ノ花サクサキチ山ヲ見付持方ツ遠ク見テ行右廻ルセツ見付持際ニテ 右ノ方リ返リ西向ハト笛座ノ方ツ見根大ノ前^へ行北正面^向時必見シテ左

一廻ニ向ハト口キ座ノ前ノ所ヨリシテ持方ヲ見ナカラ大小前^へ 行正面^向 一我狂。乱ト 踊ソ右ノリ

一サテ置ヌト正面^へ向テ先^へ出ト居巻ヲ前^へ下^ニ置 一管ヲ筋邊ト下置

一夫ヲ導ト正面ヲ舞ム 一極重悪人ト 詠ナカラ管ヲ

持テ立右トリシテ柱ノ際^へクツロキ正面^向

一教ハ本來ト口早連^へ向 一は善光寺ノト正面

一女人ノ恭ルシキトト早連^へ 一ヨシ人々ハト管ニテ

右ノ方ヲサシ面をヒ見 一聲コソシル^へト正面^へ出 一足程

合掌 一頼シヤカシヤト 踊フニ下ケ

一釈迦ハヤリト出カケ角トリ 一爰ヲサル夏ト左

廻リ 一内陣ニイサト申テ正面出へ開開カ右ニテ定テ右ヨリ退出テモ

一光明遍照トサシカシテ右廻リシテ柱ノ際ニテ正面向

一夜念佛申セト正面シテ柱ノ見付柱ノ件程ニテガシ出安座シテ返シシテ笠ヲカカ置ク

又 一夜念佛申セト安座スル時右膝ツク時笠ノ先ヲ上ニシテ笠ヲ

持タルヤヲ持テ安座シ 一人々ヨハ夜念佛ト

笠ヲ逆ニ建テ切ロノ所ニテ下ヲニツキ添テ笠ヲ下

置ク但笠ノ先ヲ向フヘオロス
ヤウニシテ下ニオクス

一笠下ニ置クト後足鎧直垂ノ上ニ馬帽子ト付付名ヲ

持出渡ヌヲ友手請取後足笠ヲトリテ引タラ正

面ヲ足テイカニ申ト請 一以馬帽子直垂ハトキト

前へ出ヌヤウニシテ也 一笠コソト面垂ス

一是ヲ如来ニト又思ル 一丈ノ後生ト面上

一祈ラヤトト面サケル 一思ヒト臨淋テ鎧直垂ヲ

下ニ置クト物着

物着 鎧直垂ヲ下ニ置クト物着ニシテ前ト後トニ座シテ着スル
モノ着セ出テシテノ前ニテ垂

ヲ水衣ノ上ヨリ着セ露紐ヲ結馬帽子ヲ前折ニ着セ

紐ヲ結扇ヲ持セ鎧直垂下ヨリ水衣ヲトリ後足引

一物着淋後足引テ 慧イトオシヤト 謠

一ヘリヌリ取テカキキト 扇ヲ上頭ヲサシ扇カクムケル 一自拍子人ニト

扇下ケ 一扇近キト 扇ヲ上ヨリおへ出シテ也
又扇ヲ下トおへ出シテモ

一ナルハ瀧ノ水ト 立右トリシテ柱ヘクソキ 正面向

一九呂蓮臺ノト 兵サ出テ開扇 一異香ニチクテト

存袖返シ サシ分シテ右廻リ大小前ニテ右行カリ 一列シト

左右袖メ扇冬ニ 借世間ノト 謠

一足モ浮世ノト右身ヲ引シホリキ切ニ下ケ 一胸ニツト 踊
又シホリナシ面ヲセテモ

一ニ界ニト 舞ニ出カケ南トリ 一月ノニカケヤト 左廻リ

一煩腦ノト 大小前ニテ 正面向 一ムスホシヌルソト 踊
面ヲセテモ

一罪障ノ山高クト 正面ノ上ヲ見テツカクト 正面先へ出左ニテメ

一生死ノ海ヲカシト 左ヲ引テ下ヲ見 一イカニトシテカト

面上右廻リ中ニテ右行カリ 一身之口四意ニト 左右

サ込扇ニケケ面ニカサシ 一湯浴ニモト引テ扇上

一ニ界ト 左右ノ手先々々テ 左行 一一心ナリト 踊

一心外無別添ト 右ヲ高クシテ 右行 一心佛及衆生ト

正面先ニサ込テ開 一是之無差別ト 左ヲ引身ヲ替

正面出テ開 一有ヘキヤト 左廻リ 大小前ニテ

一成へくハト正面行カリ 一尋又へカラスト胸サレ開

一歩池ノ蓮トサレテ正出下ヲ見廻シ開 一唯願久ト

正面身ヲ垂シ静ニ出カケ 一金ノ岸ニト角ヲトリ

一栴ト左へ廻リ大少前ニテ 一道標トテ後小廻リシテモ道標トノト正面向白

一寶池ノ水ト踊左リ 一功德池トサレテ正面先へ

ツカクト出サレツメ 一瀨ノ土砂ト其色ヲノケ右ノ方

下ヲ面垂ヒテ見 一數々ノ玉床ト正面へ身ヲ垂シテ

正面ヲハツキリト見 一臺モト左へ廻リ中ニテ正面向其

一ナキイノ子ト踊四ツ右リ 一若我成佛ト左右

歩込開 一給ハト踊 一今ノ我等外左右

ニテ出 一丈ノ行浦ヲト正面先へ歩込垂サレテ右廻リ

一西ノ空ノト方角へソメ色ノ扇シテ開 一彼國ニ迎へツト

扇ヲトケ左ヲ引テツカクト出 方角ヨリ以形ナシニモ 一ヒトツ淨土トホ

前へ行正面 一ナシ星ニヲカサへ給ハト踊六ツ右

ノリ又四ツテモ 一稱名モト油邊シサシ分シテ右へ廻リシテ柱

際ニテ正面向 一頼ムナリヤト正面出足トメ合掌シテ

一南無帰命ト祈念シナカラ海へタラクトサカリシテ柱ノ際ニテ

安座 一サ切右掌ノ下ケル

子方
一 今ハ何ヲカツムキトワキ連子方ヲ立セシテノ方ハ向

連行四五足程出足トメシテハ向立テ居ル

○何レノ扱モ子方ノ面ニ見廻シテモ

一 何レノ扱モ子方ニ向テオボロニ見ル
一 糸ニアキレテト

立子方ニ向
一 能々見レハト右斗ニテ扇ヲヒロケ友ニテニツ

アフキナカラカニ出テト足トメ
一 フセ屋ニ生ルト左ノ方

解ト若ク引立テ子方ノ側ヘツカクト行子方ノ脊ヲ左ノ方ニテ

抱へ
一 アリトハ見ヘテト正面ヲ面上テ見

一 逢ヌトコソト右ノ方ヲ子方ノ背アテイタリテシテ柱ノ方江

連行
一 今ハ早ト左ノ方ノケ扇ヲ平ラシテ子方

脊ヲ上ヨリ和ラカニキヤウニシテ復ヒ
○子方其俣入
一 疑モナキト

其扇ヲ並ニカサレ左ノ方廻リ正面開油返シ右ノ方ニ足出

踵ニツフミテトメ油モトシ扇タニ入

カリケレ

○始ヨリシテ不出次ヨリ始テ早出道行淋テ橋掛リテ幕ハ向

紫内也 夫々申上ト幕上 何小太即トハト語ナカラ出幕ヲシ

ワキヲ見テ歩行 荒珍ヲシヤ何トテモノヲ申サヌトトニ居 御日

ナトヤ生テアルトワキニ向テ立ワキノ側ヘツカクト行トニ居立思フ心ノ

ナカルラント右ニテ膝ヲサキニテワキヲサシテ捨 恨メシトトトト

下ニ居シホル 時ハト正面向立歩行一松ニテ正面守ヲ給ヘト
合掌 御日

○シテ始ヨリ出舞臺ニ床枕ニ腰カケ先時モトヤ生テアルト云取ヨリ右形如スルモ有

○ アハトコソト扇ヲ子方ノ胸アタリニテシテ柱ノ際ニ連行其俵ニテ
 正面ヲ向テ遠ク嬉シキケレト子方ノ扇ニテ遠ク左方ノ後只カ
 足ツロケ子方ヲ右トリ先ニ入テ其扇タニカラ子方ノアト
 ツキテ入モ有

百萬

一面

- 一 着附箔
- 一 腰卷
- 一 長絹
- 一 長續腰帶
- 一 髪
- 一 雙帶
- 一 折烏帽子
- 一 字長髪扇サス
- 一 箆持

子方

- 一 放シ髪
- 一 着附箔
- 一 児袴
- 一 腰帶
- 一 墨骨壹扇

● 狂言念佛地トリ之夏シラ聲ニテ可云也是習也シラ
 色トハ誦ノ調子ニセズ咄ヲスル如キ平生ノ声ノ夏シ

狂言念佛地トリ様之夏
 狂言 南無釈迦シヤカ
 地 南無釈迦シヤカ
 狂言 南無釈迦ムニブ
 地 南無釈迦シヤカ
 如是二度地高トリ云也 誦狂言人ニテ念佛云云

一 狂言念佛地トリ一遍聞テ幕上歩ニ出シテ柱ノ際ニテ

狂言ヲヨク見テツカクト行狂言脊ヲ笹ニテ軽ク歩進

シサリシテ柱ノ所ニテアラワルノ念佛ノ拍子ヤト云

狂言イカニ七面白フヨトリヤレト云テ引ト兵向テ南無阿

弥陀佛ト謡 一人ハ雨夜ト正面ヘカシ出

一 雲暗子共ぬへト西ノ方角ヲ見 一 阿弥陀佛ヤト

云々 一 誰カハト左右歩込引身ヲ云々足カヤト

謡 一 ナ、車ト右ヲウケツムトモト笹ヲ上ヨリ正

出歩込笹ヲ其儘ニ右ヨリ足出ナカラ左ノ方ヲ笹掛

左ノ方掛ル時
神ヲ下返シ

一 オモク共ト左ヲ引又右ヲ引腰ヲ引

立テ進ヘサラクトサガリ 一 一度ニトサシ分シテ

右廻リ大小前ニテ右ウケ左右歩込引歩切ニ重引

一 マトハ引テトス正脚一ツフミ 一 臆月ノト右ウケ

一 ワツカニ住ルト正面ヘ進シテ出 一 二界ノ首カセト笹

肩ゲ左ノ方ヲ笹ミカケ首ヲ押ヘ足トメ

一 外ノ車ノトフハト脚在ノ条 一 何ツヲサシテト

カロク左ノ右トウケテ正面ヘ出笹ヲ前ヘオロシ歩込

一ヒカ^ルト 踵フミ左^ノ袖返テ 箆ニカケテ身ヲ引

一エイサラ。エイサト 踵^ツ 一ヒケヤ^ク以車^ト左^ヲ

引テ前ノトヲ也 一物見ナリ^クト角^トリ

一実百^ノカト左^ニ廻リ 一オト^ク如^クト中^ニテ正面

一開 一フリタル鳥帽子ト 箆ニテ頸ヲサス

一又眉根シロキトニ重引 一ウツシ心カト右ヲウケテ

角^ノ方ツカ^ト出 一村鳥ト^ト面^ニヒ見

一ウカレト人ハト面ヲフセテ右廻リ大小ノ前ニテ正面

一肩ヲ結シテト右ヲウケ 箆ヲ上ヨリ正面へ出テ

一スツニサケト 箆ヲカ^ス 一裾ヲ結シテト開ナカラ

箆ヲ上 一肩ニカケト肩ゲ 一ムシロキレト

右^ニ廻リナカラ 箆オシ大小ノ前ニテ正面へ向サマニ

一亂心ト 踵^ツ右^ニ糸 一南無^キ釈迦^ト 正面^へ身

ヲ^ヒシ正面ヲ見テ正面^へ出 一信心ヲ致スモト

ト^ニ居 箆ヲお^ニ置 一南無^キ大聖^ト 正面ヲ科^ミ

一子方ノ洞ニナリテ 箆ヲ持テ立シテ柱ノ際へ退キ 正面向

一是ハ奈良ノ都ニト^リ 一丈ハ何故ト 正面

一丈ニ死シテ別レト^リ 一思ヒカ^ルレテト^リ 正^ニ出

- 一 為痛ハヤト 正面
- 一 仰マテセナシト 口キハ
- 一 遠近人ニ面ヲサラスセト 半正面ヲ毎テサシ面キト此
- 一 若モ我子ニト 口キハ
- 一 車ニリノト 正面
- 一 我子ニ逢ントト 口キハ 二足出
- 一 美痛シキト 正面
- 一 嬉シキ人ノト 口キハ
- 一 囃シテタハヤ人々ヨト 左トリ
- 一 囃子方ヲ面キヒテ此廻シ
- 一 忖モハト 正面
- 一 親子アツク 袖ナレヤト 正面キト出
- 一 百葉カヲ
- ヲ此給ト 用 地トリニ 左トリクツロキ 箆ヲ捨扇ヲ持
- 正面向 左右 左ト出 百ヤヤノト 謡
- 一 我子ノ

行儀ト 兵出用 イロエ

- 一 イロエノトメ 大小ノ前ニテ 袖口留 美ヤ 觀ハト 謡
- 一 哀ハカキト 左ニテシホリ 切切ニ下ケ
- 一 涙ゴスト 踊フミ 正面出カケ
- 一 流ル月ノト 用
- 一 西ノ大寺ト 左ヲウケテ 出右廻リ中ニテ
- 一 白露ノト 正面行カリ
- 一 起別レテト サシ廻シ 用
- 一 イツチ共知ラスト 正面身ヲ
- 一 一方ナラヌト 左トリ
- クツロキシテ 柱ノ際ニテ
- 一 青丹ヨシト 正面先左方ハ向
- 一 奈良ノ都ヲト 躰ヲ引立テ 行口キ座ノ前ニテ 右ハフリ 返リ

橋カリノ方引テ 一カエリニ笠山ト云シ是

一棹ノ川ヲト下リ是テ四五足程安ニテ足トメ

一山城ニト面ヲアゲテ行シテ柱ノ所ヨリ正面ニ向テ出

一名ノミシテト目付柱前ニテ足トメ 一穀ヲツスト左ヲ引

躰ヲカケテ下リ此 一浅間シキ姿ト云テ面ヲ上ニ垂

シホリナカラ瀬ガシサカリ 一斯テ月日ヲトクヲ下ケ

右廻リ 一濠ノ駒ト角ヲトリ 一足ニ促セテト

左廻リ中ニテ 一湫瀝壁ノ寺ニ参リツト右ヲラケ

一四方ノ音々ヲト左右方ニ扇ヒロケ面ニカサシ

一龜山ヤト引テ扇上 一雲ニ流ルト左右ヨリ出

左ヨリ先タテ左ニ行 一大井ノリト躰

一寔ニ浮世ノト右ヲラシテ右ニ行 一盛り迄行ク

山櫻ト正面先江寺迄開 一嵐ノ風トサレテ出

一松ノ尾小倉ノト右ニ廻リ引 一夕霞ト左廻リ

シテ柱ノ所ヨリ 一立コソツケトサレテ行角トリ

一カサシツクキト扇カシテ左ニ廻リ大小前ニテ

一貴賤郡集スルト正面ヲサレテ右ノ方ニ廻シ

一地寺ノト正面ニ胸サシ開 一彼ヨリ七先ヨリ七ト正面

身ヲ垂シ 一 忝セト正面へ出カケ角ヲトリ

一 二佛ノト左へ廻リ 一 道明ラメンセト大少前ニテ正

面向 一 昆首羯摩カツリシト 踊六ツフミ在条

一 赤梅檀ノト正面へ垂シテ出開 一 天竺ト左へ廻リ

中ニテ 一 有難クモト左在キ出テ開

一 御法ト申スモト 踊 一 沛母摩耶夫人ノト大左在テ

出正面先江出開 一 イワヤト左廻リシテ柱ノ

際ニテ 一 ナトカハ母ヲト右ヲウケツカクト行カリ

一 子ヲ恨ミトサシテ角ヲトリ扇カサシ左へ廻リ大少前ニテ

左右シテ正面へ垂ス 一 恙我子恋シヤトシホリナカラ

シテ柱ノ方へウロキ扇タミテ正面向 一 五廻リ

一 五廻リハ子ヲ尋也 目付柱ノ方ヲ見テ行角ヲトル様ニシテ

足トメズ左へ廻リカケ之四足メヨリ地漏ノ方ヲ見テ行左ニテ垂

トメ向ヲ能ク見又左方へ見廻シナカラ左足ヨリ歩ミシテ

柱ノ隙江行口正面向江見廻シテ向ニ足出足トメ大小ヨイ

是程多キ人申ニト 諺 一 五廻リハ口傳ヲ受
ニテシテ可致也

一 恙我子トシホリ正面向 一 我子給ナフト多ク下ケ向

ヲ見テ舞ミカシ出足トメ 一 狂人ナカラセト扇ヒロケサシ

角トリ左廻リ正面向テ出 一南無釈迦ムニラト

フミヒラキ衣廻リシテ柱ノ所ヨリ 一心ナラスモ逆縁

ナカラト正面へ出テ足トメ 一枕言ニアセテト海へタラ

くトサガリシテ柱ノ隙ニテアン座シテ合掌ヨキノ指ニ下シ

子方 一餘リニ見ルモ痛ハシヤトヨキ子方ヲ立モシテノ

方へ連行時四五足程出シテ向立テ居ル

一心強ヤト子方ヲ見テ惱 一加極ニ恥ヲハサラサシト

面トケ 一意恨メシト子方ヲ見

一トハ思へ共ト面ヲ下ヘトリ立立ナカラ扇ヒロケ子方へ向

一夕ノく逢フハト 友ニテニッ招キナカラ出左テ音ト留

一花ニ手得タト 左ノ手ヲ解ト共ニ引立テ子方側へツカク

ト行左テ子方抱へ 一蔓カ視カト 右ニテシホリ

一能々セノ夕紫スルニト ヌウケン扇ニツ 一衆生ノ

為ノト正面ヲサシ扇ニテ此廻シ 一父ナレハト子方見

一母諸トモニト 扇ヲ子方ノ胸アメリニアテイタリテシテ

柱ノ方へ連行 一泣ノカツ有難キト 子方ヲ橋カリ

へヤリ扇ヲ平ラニ子方ノ脊ヲ支後ヲ扱ニ和ラカニウチ

一願ヒモミツト 其扇ヲカサシ正面ウケ左へ廻リ正面へ崩

返シニ右ウケニ足出 踊ニツフミテトメ 扇タミ入

嬉シサヨ

櫻川

一面

深井前後

一着附落前後

又附首三毛

一上着安唐織

又安唐板三毛

一髪前後

一安髪前後

一文前方渡

一後

一腰卷安綾落

一水衣肩上

一文安腰布

一文安髪扇

一網

一子方

放シ髪

一着附落

一兒袴

一腰布

一黒骨童扇

一梅子ノ母ノ渡リカト聞テ幕上 誰ニテ渡リカト

謫ナカラ歩ミ出幕ヲ一間程ハナレテ足トスル

一攝テ慥ニト男文ヲ渡スヲ左ニ請トリナカラ為思ヒ

ヨラスヤト云 一先ク文ヲト正面向文ヲヒロケ未迄

見テ始メヨリ讀 一東ノ方ヘクダリト肝ヲツツシ

ナフ其子ハウルニシキト面ヨリワキ方ニ足出

一為慥シヤト足クツケ 一又文ヲ見テ是ヲ出離ト

續 一名鏡オシクハト文ノ中ヲ見

一別ルランノカ切ニ文ヲマキ懐ニ入ル 一サリトテハ我

頼ムヨリ歩ミ 一湯氏子成セノヲトフ松ニテ正面向

一樓子トメテト正ヲ辨ミカ切ニ目下ケ 一サナキタニト

靜ニ舞臺へ入シテ柱ノ先ニテ 一弱子ニトト足トメ

一泣ニ迷ヒト左ニテシホリナカラ足クツケシサリサマ橋カリ
方向足トメ返シニ目下ケ中入

子方

一子方ワキワ連日ト次才ニテ出子方側ノ通り

舞臺ノ左ノ方ヨリワキト向合ワキ各条ノ内正

面道行、ワキニ向道行漸テ正面先カウニ在

以トト歩テワキ座へ行ワキ正面向下ニ居ル

後
一セイを越せテ幕止細ツカダゲ 右ヲウケ 舞ヲ出

一ノ松ニテ正行カリニ向ヲ出テ何ニアレタル謡足上

一何散カダニト足クツケ 一花チレル水ノト網ヲオロシ

ソウク舞臺入シテ様先ニテ 一花ニヤウトク雪ノ

久ト用 一桜花ト踊ニツフミ正出右糸踊ニツ

フミ海タラクトサカリ足トメカケリ

一カケリノトメ小廻リ正細ヲ肩ヨリオロシテ引

一散ニシ風ノト正行カリ 一水ナキ空ニト網ニテ

エツサシ廻シ引 一思ヒモト左身引メシテ踊ニツ

正出右糸踊ニツフミ左ヲ引 一千ルハト角ノ

エツサシ 一涙ノト面ヲサゲ左へ廻リシテ柱際ニテ

小廻リ正用 身ヲ垂シ 是ニ出タルト謡

一春ケキ旅ヲイカニセント面フセニ足クツロケ

一爰ニ又ト右ヲウケ 一別レシ子ノ名モト正面垂シ

一ミツカラ花衣ノ春ノ形也 踐サントニ足出

一花鳥ノト正引 一親ト呼ノトスエ踊ニツ

一行清モシラテト右ヲウケ 一鄙ノナカキト正出

一。夕ト。アフ共。親ト子ト。踊左条込用

一ウタテヤト左廻リシテ柱ノ際ニテ 一我子ノ花ハナト

咲ヌト正面向トメ返ニ舞ヲトクトス

一是ハ遊ノト早 一夫ハ何トテト正面

一サシハ唯獨アルト早 一意痛ハシヤト正面

一サシハ我故御ノト早 一サレハ別レシト正面

一又此川モト右ヲウケ 一名モナツカシキト早向

一アタニモセシト思也ト定出 一謂ヲ受ハト正面

一彼貫之カト早 一実々首ノト正面

一糸足モセヌト早 一右ト聞テト定ツメ

一常ヨリモト正面へ用 一櫻川トスル踊ニツ

一浪ノ花コソト左トリ大小ノ前ヨリ正面向 一古キ名ノ

ニ残ルト用 一櫻川ト正面角カケテサシ廻シ引

一霞ウカスト右ハ少廻リ中ニテ正面向 一ウカヘウカヘ。

○霞ウカス右廻リシタ浮海ノ正面向時細ヲ肩ケ左ノ細カケ首ヲ提

水ノハト踊左条込ヒラカズニ網ノ柄。丸ノ子ヲ掛右ノ

足ヲ右開キ 一美面白キ川瀬哉ト右方面モ

此廻シナカラ少シ出足トメ返ノ美面白キト橋カリヘ向
行橋カリヘ行時左ノ子ヲ網ノ柄ニ掛花ヲ其傍左ニ

柄ヲ持存ス放ス 網ノ方後口ニシテ静ニ歩ニ橋カリへ行シテ
柱ヲ越シ行カリニ板羽目ノ方向クックロク

一 梅川ニ花ノ散ハヨト云ヲ聞 網ヲ右ニ持正面向ア松ニテ

足トメヨシナキ更ヲト謡 一流レ又更ニト舞臺

入シテ柱ノ先ニテ足トメル 一 梅カト口キヘ

一 浮タツ雲ノトニ足ツメ 一 散レハソト正面向返ニ正面

へ出ナカル、花ヲススハント用 地ドリニ左トリクックロキ

網捨扇ヲ持正面向ニ足出 花ノ存ニト謡

一 雪ヲウケタルト云出 用 イロエ

一 イロエノトメ大少前テ袖トメ 炎水流ト謡

一 是又他生ノト口へ向 歩切ニ正面

一 曇ルト云ラント 踊 一 滅ナリヌレハト云へ出カケ

一 思ヒシル身セト 用 一 サテイカニト右ニ足

一 我ニ夢ナルヲト 左右歩 引 花ノミト見ルツハカナキト
左ニテシホリ 歩切テモ

一 サレハ梢ヨリト 出カケ 一 花ナレハト 角トリ

一 落テモ水ノト 下ヲ見 一 イサシラ浪ノト 左廻リ
○サレハ梢ヨリアタテ散ル花ナレハト正面向ツカクト出左ニテ留 落テモ水ノト
左ヲ引下ヲ見テモ 宋女モ目更ス

一 クヒノヤキタヒト 正面向 出 用 一 花ニナレ行 右廻リ

大小ノ前ニテ 一 ウラヤレテト 正へ行カリ

一霞ヲアハレミト 上ヲサシ廻シ開 一露ヲカナシメルト

サ込扇ヒロケ面ニカサシ 一遙トト引テ扇上

一思ヒワタリシト 左右ヨリ出シ先タテ左へ行

一ヒタチヲヒノト 踊フニ 一カコト計ニト 右ヲ高クシテ

夜行 一アタニナサシトト 正面先へサ込開

一雪ヲタヘテトト 下ヲサシ廻シ引 一花ノシカラミト

右廻リシテ杖方ニテ 一是トテモト正へ行カリ

一コノ花サキヤ姫ノト 胸サシ開 一花ナレハト正へ

行カリ 一風モヨキテトサシテ行角トリ扇

上ヨリ覆フ様ニ 顔ノ上ニカサシ左ヲ引 一水モ執テ

下ヲ見テ 一杖ヲト左へ廻リ大小ノ前ニテ正面向

一ハナニヨルベト 踊衣糸 一水セキトメテト左ヲ

引扇ヲ上端ノ如クヒク前へ出シトメル様ニシテオシテ正出

一桜川ニナサフヨト 開 一アタラ櫻ノト正へ身ヲ垂シ

返シニシテ柱ノ所へクワキ扇サシ網ヲ持正面向

一花モウシト出カケ 一風モツラシト 角カケテ行

一散ハツ袴フト 角トリ 一千ル花カツラト 左へ廻リ

大小ノ前ニテ 一猶青柳ノ糸櫻ト 小廻リ正面向引

一 雲ト見シハト 正面へ行カリ 一 之ヲ野トサシ廻シ

引ナカラ 網ヲ肩ゲ丸ノ手ヲ網ニカケ首ヲオサテ

一 云ヨシノ。云。芳。囃。み。ト 踏フニ返シ 右ノ衆

一 川ヨトタキツト 正面へ身ヲ垂シ 網ヲオロシニ出

一 花ヲスツハト 正面先下へ 網ヲズイト出シ スクワテイテ引

一 クス魚ヤト 面をヒ出 一 カラマシト 右へ廻リ

一 波モナツカシヤト 右ウケガシ行カリ 一 何レモト上ヲ

サシ分引出テ 一 ノ花モ楼ト 正面先へ上ヲ見テ行

一 七雪モ浪モトシテ 柱ノ方下ヲ見テシテ 柱ノ際ニ行

網ニテ スクワ様ニシテ 正面へ出スツヒ上

一 アツメ持タル者ト 引ナカラ 左ノ手ノ上へ 網ヲ棄セテ出

一 是ハ本ミノ花ト 網ヲ左ノ方へ捨 一 寔ハト 正面

ヲ見テ出シ 一 楼子ツ志シキト 海へタラシト

ニサリシテ 柱ノ際ニテ アクラカキ 友ノ手ニテシホリ

一 如何ニヤイカニト云時分 扇ヌキテ持

一 築紫人カト 宣フハト 口へ 一 何ヲカト 正面

子方

一 何ヲカクハト云ヨリ 口子方ヲ立タセシテ 互

連行時シテ 向ニ 是程出立テ居ル

一様子トト面フセ
一葎カト也モワカズト面ヨリ

向子方ヲ中程ニ見
一何レ我子ト子方ノ顔ヲ也
オホセニ

一セトノ姿ハカレ去ト子方トヲ也
一サスカ也別

シト子方ヲ也
一櫻子ノト扇ヒロケナカラ立

一花ノ魚ハセト友ニテニツベ子キナカラカシ出テト足ト也

一コハコナリケリト左ノ手ヲ躰ト去ニ引立テ子方ノ側ヘ

ツカト行子方ヲ左ノ手ニテ抱ヘヨク也テ

一嬉シキ涙ト右ニテシホリ
一斯テ伴ニ立帰リト

扇ヲ子方ノ胸ノ處ニアテ靜ニイタワリテシテ柱ノ方ヘ

一佛果ノ縁ト成ニケリト子方ヲ橋カリヘヤリトツケ

扇ヲ平ラニシテ子方ノ脊ヲ覆フ楸ニ和ラカニウキ

一二世安樂ノ縁ト其扇ヲカサシ正面ウケ左ヘ少廻リ

正面へ開返シニ右ウケニ足出躡ニツフニ扇タニ入

アリカタキ

Handwritten text in a cursive script, likely a list or a set of instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions.

一 去トテハヨリ歩行テ 一 柳氏子ナル者ヲトテ松テ正面向左ヨリ
ニ豆出カラ合掌スル 折切ニシテ下ル

一 泣々迷ヒト左テシホリナカラ豆出クハ幕ノ方向ニ豆出トメル
返ニシテ下ケテ右ヘトテ謡ノ内ニ橋ヘ入 中人

後ニテ

一 花子シルヨリ細ヲヨシソロソロノ舞臺入 花ニヤトク雲ヲ色ト行
ガリテ 一 様花トモヨリ正へ出右ヘトテ踊テ流々トテトサリ

カケリ 一 散ニ凡ノト正ニ出ト出キリ 一 水ナキ空ニ細テトテ細テ
一 思モ浮キト拍子ナシ正へ出左ノ別テ角ノ上ヲ見ル

一行清キミラテト右ヲワケ 一 ヒナノ長流ニト正向テ出オモワシセト用

一 庭ヲナカスト右ヨリ廻リ申テ 一 吹カメツカメ水ノハナト踊テ
裏面白キト右豆ヲ右ヘトサキ右ノヨリ見廻シ左ヘ又廻シ正ニ豆カケテ
川流カナト角ノ方向左ヨリニ豆メ右左中ト面モミル 一角ノ向左ノ豆
出ル時細ヘナリノトサカケテ見ル

一 三ヨシ野の。の。の。の。川流ト細ヲ見ナカラ左右ヲシテ正面へ
お込 一 花ヲスククモシト下ヨリスル上テ引 一 クス魚ヲトサシ右ヨリ

ヤミテテ前へ細ヲ底ラツケテテ細ノ中ヲ面モヒテ見ル 一 吹ラシト
右へ廻リ 一 雲モナツカシヤト右ヲワケテ行カリ 一 何シモト早正面
ウケテ上ラケシ廻リ用 一 ノ花モ様モト早流ノ所ニ右ト上ヲ見込テ
行 一 雲モ浪モト左ニカケテ右ヘトテ柱ノ前下ヲ見テ行細ヲ早
騰ラカメテ下フスクヒナカラツカ〜ト角ト中トノ正ニ又出

一 云々持名共ト用ナカラ左ノト上へ細ヲ舞セテ見
附リ細ヲ子へセン時右ノヒヨク〜カメテ細ヲセルセル〜
一 是ハ本ノ死ト右ヘトサリ廻リナカラ正面ヲ向テ吹シ出
一 様子グシキト海ヘタラ〜トサリシテ柱ノ際テ出流ルノト
ニテコホル

右は舞附ハ信良お勤ま乃ノ形



